

こちら航空宇宙推進室

インターステラテクノロジズ株式会社 本社および新工場が完成！ — 竣工式が行われました —

建設中だったインターステラテクノロジズ株式会社（IST）の本社（事務所棟）・新工場（組立棟）が完成し、12月21日に竣工式が行われました。

ISTは、「誰もが宇宙に手が届く未来をつくる」ことをミッションとして「世界一低価格で、便利なロケット」づくりを行っており、観測ロケット「MOMO」と超小型人工衛星を宇宙空間に運搬する軌道投入ロケット「ZERO」を独自開発しています。

2019年5月4日（土）には、大樹町で観測ロケット「宇宙品質にシフトMOMO 3号機」を打ち上げ、民間企業が単独で開発製造したロケットとして、国内で初めて宇宙空間に到達しました。これは、民間で姿勢制御機能を持つ液体燃料ロケットとしては世界で4番目の宇宙到達となります。

そして、この度ミッションの実現に向け、ロケット開発をさらに加速させるため、大樹町内に本社および工場を新たに建設しました。

本社（写真①中左）は、延床面積995㎡の2階建てで、1階は工場機能を持ち、MOMO・ZEROの機体部品の組み立て、計測、保管を行うほか、ロケットに載せるペイロード（荷物）の組み立て・打ち上げ前準備でお客様が使用するペイロード室も完備しています。2階はZEROの開発、製造、運用を見据えて、100人規模の収容人数を持つ本社事務所となります。（現在の社員数は約50名。）

新工場（写真①中右）は、MOMOの数機同時の組み立てやZEROの組み立てを行う「組立エリア」、MOMOやZEROの推進剤を収容するためのタンクを製造する「溶接エリア」として使用します。

竣工式当日は、ZEROの実物大模型や「ねじのロケットMOMO 7号機」の実機が展示されました（写真②）。

①本社（事務所棟）および新工場（組立棟）



②竣工式展示



①②写真提供：インターステラテクノロジズ株式会社

【お問い合わせ】企画商工課航空宇宙推進室推進係 ☎6-2113

